

# 感動新聞

平成29年7月号 発行者 細川栄一

ビジネス経営の最前線で頑張っておられる方の役に立つ情報となればと思います。喜んで頂ければ幸いです。

## ビデオテープ

ある中学生の男の子は、家のお金を持ち出しては悪い仲間と学校をさぼって遊んでいま

た。ある日、家のタンスの奥にお金が見え隠れしていると探していると、1本のビデオテープを見つけました。

大事に保管されていたので、

「何が録音されているのだろう」

と不思議に思いつて再生すると、彼が小さい頃に亡くなった男の子のお母さんが映し出されま

した。驚いた男の子が見つめる画面には、病院のベッドに座っているお母さんが映っていました。

お母さんは、

「○○ちゃん、20歳の誕生日、おめでとう。」

何も買ってあげられなくてごめんね。

お母さんがいなくなっても○○ちゃんは強い子になっているでしょうね。

今頃、大学生になっているのかな？

もしかして結婚していたりしてね……」

とビデオに向かって話していました。

このビデオを泣きながら見た男の子は、その日を境にして、悪い仲間と遊ぶことをきっぱりと止めて必死に勉強しました。

数年後、一流大学に受かった男の子が20歳の誕生日を迎えた日、お父さんは男の子が中学生のときに見つけたお母さんが残してくれたビデオテープを、筆筒から取り出して男の子に渡しました。

お母さんが残してくれたビデオテープをもう一度、よく見てみると、お母さんの言葉と一緒にビデオを撮っているお父さんの小さな泣き声が聞こえました。

ビデオの最後にお父さんを励ますお母さんの声も録音されていました。

その後、男の子の就職が決まった時、お父さんは男の子に、

「これでお母さんに怒られなくてすむよ」と言っていたそうです。

自分の子供の成長を見たくない親はいないと思います。

お母さんは、自分の子供と一緒に生きたかったと思います。

その願いが叶わないと思つて残したビデオテープが中学生のとき、男の子を救ったのは偶然ではなく、お母さんの想いが男の子に伝わったからだと感じました。

子供を思う親の気持ちは本当にありがたいですね。

誰かに、

「あなたなら必ずできるはずだ」

と言われれば、自信を持って頑張ることができます。

さらにその言葉を言ってくれた人が自分の大切な人だったら、必ず期待に込めたいと思つて、全力で努力すると思います。

私には応援してくれる人は誰もいないと思う人もいますが、この男の子のお母さんのように応援してくれた人が必ず誰かいたはずですよ。